

2004年11月17日

各 位

三菱電機株式会社  
双日株式会社

三菱電機と双日グループ、ディーゼル電気機関車用電機品を  
国内企業として初めて米国ゼネラルモーターズ社から  
100億円規模で長期独占受注

三菱電機株式会社と双日株式会社の米国人である双日米国会社は、国内企業として初めて米国のゼネラルモーターズ社から新型ディーゼル電気機関車に搭載される電気駆動制御システム用制御機器（インバーター装置）ならびに運転席用空調装置を長期独占で受注しました。インバーター装置を含めた電気駆動制御システムは、2001年よりゼネラルモーターズ社と3社で共同開発を進めてきたものです。受注規模は、インバーター装置と空調装置とを併せて今後5年間で100億円以上を見込んでいます。

#### 受注の背景

ディーゼル電気機関車製造事業の分野で世界トップクラスのシェアを誇るゼネラルモーターズ社は、ディーゼル電気機関車用制御システムをこれまで欧州メーカーから調達していました。三菱電機と双日米国会社では高耐圧を実現したパワーエレクトロニクス技術や信頼性の高い車両制御技術などによるシステム提案を行うなど、2001年から電気機関車用制御システムをゼネラルモーターズ社と共同で開発を進めてきましたが、このたび、共同開発成果が高く評価されインバーター装置の大量受注に至りました。さらに、運転席用空調装置も省エネ・高機能、高信頼性等で評価され、併せて長期独占的に採用されることとなりました。

#### 受注品の特長

最新鋭インバーターの採用により、強大な駆動力を高効率かつ精緻に制御でき、ディーゼルエンジンを常に最適回転域で運転させることで、燃費の向上と低排ガス化ができるなど環境にも配慮した製品です。

## 今後の展開

三菱電機と双日グループは、北米交通市場を注力分野に位置付けており、1999年に受注し、現在納入中のニューヨーク州交通局向け郊外電管用駆動制御システムならびに今回ゼネラルモーターズ社から受注したディーゼル電気機関車用システム等、新たな市場開拓に取り組む方針です。

以上



### 【本件に関する問い合わせ】

三菱電機株式会社 広報部 03-3218-2333

双日株式会社 広報部 03-5520-3185